

聴覚障害者情報提供施設

やすらぎ^{だより}[発行元]茨城県立聴覚障害者
福祉センターやすらぎ〒310-0844
茨城県水戸市住吉町349-1
TEL 029-248-0029
FAX 029-247-1369
ホームページ
[http://www.center-
yasuragi.or.jp](http://www.center-yasuragi.or.jp)
休館日/月曜午後、火曜日、祝日

色とりどりの花が咲き、若葉が萌える気持ちのよい季節になりました。

皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。やすらぎでは今年度も皆さまよりご意見・ご要望をいただきながら、各事業を進めてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

中途失聴・難聴者のための手話講習会

今年度も中途失聴・難聴者のためのコミュニケーション講習会を、下記のように行います。この講習会は聴覚に障害がある方を対象としております。話していることも、要約筆記がついているので、わからなくて困るということもありません。聴覚障害を持つ仲間が集まりますので、楽しく手話を学べます。お申込みをお待ちしております。

1. 日 程： 令和6年 6月 8・22日、7月13・27日、8月10・24日、
9月14・28日、10月12・26日 (全10日間：すべて土曜日)
[時間] 13:30~15:30

2. 会 場： 土浦市総合福祉会館ウララII 講義講習室 3

3. 受講対象者： ・初めの方
・茨城県内に居住されている、おおむね18歳以上の中途失聴・難聴の方
及び同居家族

3. 内 容： ① 手話の知識とコミュニケーション
② 聴覚障害についての情報保障について
③ 補聴器について
④ 読話の講習等

4. 受講回数：10回

5. 費 用： テキスト代実費

6. 申込方法： 氏名、住所、FAX番号（又は電話）、年齢、身体障害者手帳の有無をご記入のうえ、
5月21日（日）までに下記へお申し込み下さい。

7. その他： 会場には、要約筆記（話の内容をOHCにてスクリーンに映し出す）を準備しますので、
全く聞こえない方でも安心して受講できます。

8 申し込み方法： 茨城県立聴覚障害者福祉センター やすらぎ
中途失聴・難聴者コミュニケーション講習会係
TEL 029-248-0029 / FAX 029-247-1369



盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 開催報告

令和6年1月より始まった令和5年度盲ろう者向け通訳・介助員養成講座が、3月21日（木）に終了しました。講座では、各講義をとおして盲ろう者や通訳・介助について理解を深めるとともに、様々なコミュニケーション技術、介助技術を習得し、修了生3名の方々が県登録となりました。今後も自己研鑽に励み、盲ろう者に信頼される通訳・介助員になっていただけることと期待しています。写真は、受講中の様子です。



（写真：[左]県視覚障害者センター講師による移動介助実習、[中]東京盲ろう者友の会講師によるオンライン講義、[右]盲ろう当事者3名をゲストに迎え通訳・介助実習）

手話通訳者研修会 開催報告

現任研修会

【1月・2月】

高齢のろう者への通訳場面をテーマにロールプレイを行いました（出席数 1月：22名、2月：19名）。当日は、県内のろうあ者相談員の方々にろう者役の演技、検証時の助言でご協力いただき、当事者・支援者双方の視点を交え、より実感的な学びの機会になりました。

【3月】

一般社団法人日本手話通訳士協会理事・高井 洋氏に「司法場面の手話通訳」をテーマにオンラインでご講演いただき、54名が出席しました。講演では特に民事・家事事件に焦点を当てて、手続きの流れや通訳上の留意事項について、事例をもとに解説いただきました。

特別技術研修会

国立障害者リハビリテーションセンター学院・手話通訳学科のご協力のもと、翻訳技術の向上を目的とした「特別技術研修会」を全3回（2/4・24、3/30）開催し、のべ74名が出席しました。

第1回・2回では、市田泰弘氏より「日本手話から日本語への翻訳技術」をテーマとして各言語の特徴、読取り通訳の各過程で誤訳しないためのポイントなど、実技・評価を交えて解説いただきました。

第3回では、野口岳史氏より「言語学的視点からみた日本手話とは」をテーマとして、日本手話の音韻や文法、語彙、日本語とのテキスト構造の違いについて説明があり、実際にニュース原稿を例に日本手話に翻訳する過程を解説・実演いただきました。

茨城県立聴覚障害者福祉センター やすらぎ

常勤・非常勤職員募集

手話通訳派遣調整担当職員

- 作業内容：手話通訳者派遣業務と派遣・養成・研修等に付随する全般
- 雇用条件：茨城県手話通訳登録者または今後取得見込み方。簡単なパソコン操作ができること。
- 勤務日：週5日
(勤務日は相談により決定)
- 勤務時間：8時15分～17時15分
(12時～13時 昼休憩)
- 賃金：やすらぎ給与規定による
- 年次有給休暇有、扶養手当、通勤手当、期末手当・勤勉手当及び地域手当

要約筆記派遣調整担当職員

- 作業内容：要約筆記依頼の申込があった時、登録要約筆記者の地域や時間等を考慮し、派遣調整決定する業務のほか、研修会、要約筆記者養成等に係る業務等
- 雇用条件：茨城県要約筆記登録者または今後取得見込みの方。簡単なパソコン操作(ワード・エクセル)ができること
- 勤務日：週3日(勤務日は応相談)
- 勤務時間：9時30分～16時30分
(12時～13時 昼休憩)
※時間帯について 応相談
- 賃金：時間額 960円～
1,020円
- 通勤手当：あり
- 賞与あり

盲ろう者向け通訳・介助員派遣調整担当職員

- 作業内容：盲ろう通訳・介助依頼の申込があった時、登録通訳者の地域や時間等を考慮し、派遣調整決定する業務のほか、研修会、盲ろう者向け通訳・介助員養成等に係る業務等
- 雇用条件：茨城県盲ろう者向け通訳・介助員登録者または今後取得見込みの方。簡単なパソコン操作(ワード・エクセル)ができること
- 勤務日：週3日(勤務日は応相談)
- 勤務時間：9時30分～16時30分
(12時～13時 昼休憩)
※時間帯について 応相談
- 賃金：時間額 960円～
1,020円
- 通勤手当：あり
- 賞与あり



【問合せ先】

茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ
Tel 029-248-0029 Fax 029-247-1369
申込締切：令和6年6月末まで

2023年度 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 第3ブロック研修会(報告)

令和6年2月20日(火)、筑波技術大学天久保キャンパス 総合研究棟(3階プレゼンテーションルーム)に於いて、全国聴覚障害者情報提供施設協議会第3ブロック研修会が開催され、当センターからは3名で出席しました。

午前中は、「大学における音声認識を活用した情報保障の実状について ―音声認識技術の有効性と課題―」と題して、筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター助教 萩原彩子氏にご講演いただきました。講演では、①音声認識を活用した情報保障の特徴、②メリット・デメリット、③導入時の留意点、について解説いただくとともに、④最新の音声認識アプリ(※)と活用事例についてご紹介いただきました。

[※…UD トーク、YYprobe(ワイワイプローブ)、VUEVO(ビューボ)、captiOnline(キャプションライン)]。午後は、同大学内の施設見学に始まり、続いて管理職グループと意思疎通支援担当グループに分かれて協議、運営面や業務上の課題について情報共有とともに、対応策など活発な意見交換がなされました。

令和5年度 第4四半期事業報告

登録者数	
手話通訳者	104人
要約筆記者	23人
盲ろう者向け通訳・介助員	46人

手話通訳・要約筆記・盲ろう者向け通訳派遣事業

● 派遣状況(単位:人)

区分	1月	2月	3月	計A	前年度 B	差引増減 (A-B)
手話	303	345	371	1019	1035	▲16
要約筆記	15	33	22	70	103	▲33
盲ろう通訳	13	22	27	62	40	22
計	331	400	420	1151	1178	▲27

ろうあ者相談事業

● 相談者の状況(1月~3月)

男	女	家族	公的機関	その他	計
7	15	2	8	5	37

● 月別相談者数(1月~3月)

1月	2月	3月	計
11	8	18	37

ビデオライブラリー事業

● 利用状況(1月~3月)

1月	2月	3月	計
0	4	0	4

5月連休の やすらぎ休館日について

5/3(金)	5/4(土)	5/5(日)	5/6(月)
憲法記念日 休館	みどりの日 休館	こどもの日 休館	振替休日 休館

※ 通訳依頼をFAXしていただいてもやすらぎで派遣調整ができません。

急に通訳が必要になった場合、お知り合いの通訳者にお問い合わせすると同時に市またはやすらぎへの連絡をお願いします。